

活動報告 2025 年 5 月～2025 年 7 月

「みんなで田植え大作戦」 今年は SDGs パートナー連携で。



いつもと同様の「田植え」ですが、今回は、おだわら SDGs パートナー実行委員会との共催で登録企業や学校、市民グループ（280 ほど）にも配信し、参加者を募りました。5 月 25 日定員 40 名を超える 60 名近くの方に集まっていただき、楽しく「田植え」を行いました。加藤市長やパートナー実行委員会会長の原正樹さんも参加され、「さまざまな分野から集合して、桑原の自然や生き物の大切さを知ることが出来る機会はとても貴重です」との声も頂戴しました。この日は、7つのパートナー登録企業の参加となり、実行委員会では、パートナー同士のつながりや連携を強化できるのではと、この「体験会」を大いに評価してくれたようです。この日の品種は「虹のきらめき」。猛暑に強い品種だそうです。

こちらは、不耕起田んぼ。酒米の田植えです。



6 月 8 日、昨年に引き続き、田起こしをしていない田んぼでの自然農法としての田植えです。「吟のさと」（酒米）でした。こちらには 33 名の皆さんが参加していただきました。例年 1 枚の田んぼでしたが今年は 2 枚です。ご承知のように、大井町の井上酒造に納品され、「左岸」という純米吟醸酒として市場に出ます。ややフルーティな感覚で飲みやすく、あまり日本酒になじみのない若い人や女性にも人気を集めているとか。もっとも新発売から 9 年が経過しますが、デビューしたときは、アルコール度数も強く、いかにも日本酒の王道

を行く本格派のお酒だったのですが、井上酒造さん、若い人たちにターゲットをしぼることになったのか、呑みやすさを優先させる醸造に切り替えたようです。今年の 12 月ごろには新酒として出来上がります。井上酒造のHPから注文をぜひどうぞ。

OECEM 申請地を歩く 観察ウォーキング大作戦！を行いました。

SAVEJAPAN プロジェクトのイベントとして6月22日に行いました。

OECEM とは、生物多様性締結国会議の中で取り交わされた約束 30/30(サーティバイサーティ 2030 年までに陸地の 30%を保護的な区域とする)を守るには、国の管理する国立公園や自然公園だけでは不足なので、民間の土地にも対象を広げ、生物多様性の取組を行っているところから応募を募り、審査の上で認定していこうという環境省の制度です。

認定されると、OECEM 自然共生サイトとして認められ、国からの保護対象区域の指定を受けるわけで、開発などの触手に何らかのバイアスをかけられる効果も。(法的整備も検討されています。) めだかサポーターの会では、一社おだわら農人めだかの郷を共同申請者として、桑原・鬼柳の民間土地所有者 20 軒を超える賛同を得て、応募をしています。

専門家による、生態系データ(動植物の生息実態)もプラスしての申請です。この自然共生サイトの認定は、2023 年のスタートですがすでに全国 122 カ所が認定されています。



この日はその申請地をたどるウォーキング。40 名を超える皆さんが参加されました。中央の赤いビブスのお二人が SAVEJAPAN プロジェクトを推進する損保ジャパン の方で「生き物が住みやすい環境を」のプロジェクトの理念のためにも OECEM への理解を広める試みは素晴らしい！とチカラ強い賛同をいただきました。また、ウォーキング終了後も参加の皆さんから「小田原でこんなにたくさんの生き物たちが見られるなんて」という感動の声も聞かれました。時間の関係もあり歩けたのはいつものパトロールコースを少しだけの延長に留まりました。(申請の詳細は、地主さんたちの個人情報が含まれるため、現時点での公開は出来ません)



パトロール、いつもいつも本当にご苦労さまです！！



5月4日のパトロール隊です。左から2人目荒木さん、パトロールリーダー（副会長でもあります）が珍しく映っています。いつもは撮影者になってくれているので写真に残らないのですが出席率100%。アタマが下がります。何度でも繰り返しますが、めだかサポーターの会の活動の基本中の基本。生き物たちに触れ合うだけでなく、メダカ生息地の風を、カラダ中で体感できるのです。田んぼでお遊戯するメダカたちにも会えますし、カワセミやナマズたちにも出会えます。歩きながら由季さんや大橋さんから植物やサカナや鳥たちの話を聞くことも出来ます。途中で拾うゴミは重たいけれど、それ以上の爽快感が毎回です。第一日曜日と第三土曜日9時半倉庫前に集合です。誰でも気軽に、お友達も誘ってでもご参加ください。この8月16日には相洋高校のインターアクト部から「ボランティアの経験としてパトロールに参加したい」との申し入れがあり10名前後の高校生もやってきます。また会のホームページからの問い合わせで「夏休みの自由課題でメダカを調べたいので見てみたい」との問い合わせも入り、16日のパトロールにお誘いしました。



たくさんの皆さんに「桑原」の自然を感じとってもらえることは本当に嬉しいことです。猛暑が続く毎日ですが、暦では立秋も過ぎ、そろそろ秋の気配を感じたいですね。

草刈ならこちらの皆さん！相鉄企業の皆さんです。ありがとう！



いちばん左が運営委員として草刈を担当していただいている小松宏光さん。3 人の方も含め皆さん相鉄企業さんの社員さんです。皆さん、メダカーズのメンバーになられています。夏場は草刈を月に 2 回行うことにしていますが、いうまでもなく暑さとの戦いでもあり重労働となります。少しでも涼しい時間にと活動時間を朝 7 時からとして早めに終了するとか小松さんを中心に工夫されています。草刈機は 7 台ありますし、草刈り機は使わずにカマでクズの蔦などを刈り取ったり、水路の増えすぎた藻を刈るなど、作業はたくさんあります。相鉄企業さんには、パトロールのトングなどの資材を提供いただいたりで本当にお世話になっています。パトロールと同様にこちらの活動にも皆さんのご協力をお願いしたいと思います。

おだわら SDGs パートナーの交流会に参加しました。

7 月 17 日（木）「課題解決ワークショップ」と銘打ったパートナー登録団体の会合がミナカのコンベンションラボで開催され、山田さん、由季さん、赤松大介さんが出席しました。年に 2 回ほど行われている会合ですが、今回のプレゼンターが日本新薬ということもあり皆さんに参加をお願いしました。プレゼンターがいま抱えている課題を公開し、出席の皆さんから解決アイデアを募るという（出来るだけ多くのアイデアを集めるという狙い）仕組みの会合です。その後は交流会、名刺交換の場でもあります。今回は 3 人も出席できたので多くの会社や団体との交流、自己紹介が出来たことと思われます。

Think
MIRAI

小田原から未来を考える

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

小田原市は持続可能な開発目標 (SDGs) を推進しています。

旭丘高校、相洋高校へ夏ボラへの参加要請に出向きました。

小田原市が推進している「夏休み体験学習」、その事務局を UMECO が担当しているのですが、その事務局からの依頼もあり、めだかサポーターの会をはじめ計4つの市民グループが旭丘と相洋にプレゼンテーションを行いました。(7月8日・火)

まず UMECO から「ボランティアの意義」についての説明が行われ、その後、各市民グループが活動紹介を行うというプログラムです。旭丘は全1年生270名あまり、相洋は希望者30名あまりの出席がありました。各団体の持ち時間は10分だけなので詳細な話はありませんでしたが、後述のように、両校から当会の夏ボラ受け入れに参加してくれた学生が3名づつありました。

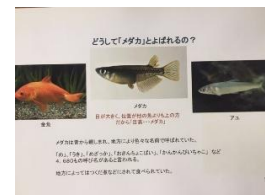
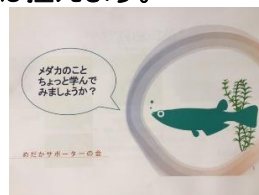


片浦小で「夏休みこども教室」。メダカの話をしてきました。

赤松さんのお子さんが片浦小ということもあり、その紹介で、メダカの話聞かせて欲しいとの依頼を受け、7月23日(水)講話を行いました。夏休みの期間、片浦小では、さまざまな教室が開かれており、そのひとつのプログラムとしてめだかサポーターの会を指名頂きました。3年生以下が大部分、合計16人の生徒が目キラキラさせて話を聞いてくれましたよ。由季さんと大橋さんも参加。もちろん父母として赤松大介さん、尚子さんも出席です。メダカや田んぼの生き物たちの水槽を持ち込んで、「小田原の宝もの」としての話を中心に行いました。

片浦小は「少人数教育」で人気の高い学校ですが、夏休み中にこうした試みを行っているのはさすがという感じがしました。

残念なことに、集合写真もスナップも撮れているのですが、学校側から拡散は止めて欲しいとの要望があり掲載は控えます。



夏ボラでの参加者 19 名。ザリガニ釣果は 120 匹でした。

8 月 3 日の全体活動日に夏ボラの受け入れを行い、19 名の参加がありました。今年は高校生の参加が多く、直接案内した旭丘、相洋から 3 名づつ、小田原東高から 3 名、函嶺白百合から 1 名、合計 10 名となり半数を超えました。例年は圧倒的に小学生が多いのですが熱中症への警戒なのか、いずれ夏ボラへの参加者の集計も全体のものが UMECO から届きますが、参加者数自体が減少の可能性もあります。

ザリガニ釣り大会を企画しましたが、こちら最近の不漁（6 月 0 匹、7 月 8 匹）もあり釣りそのものを楽しんでもらえるか心配でしたが、120 という釣果となり、参加者のアンケートをみても「面白かった」「また挑戦したい」などの答えも多くひと安心。

釣りを終えた後は冷えたスイカをみんなに振る舞うことができました。

スイカの準備など川上さん、赤松尚子さんに大いに世話をかけました。有難うございます。



予告。UMECO まつりへ参加します。今年は第 10 回目。

今年は 11 月 30 日（日）の開催で UMECO まつりとしては第 10 回目の節目を迎えます。実行委員に会から赤松大介さんが名乗りを上げ、すでに準備の打ち合わせなどは始まっています。昨年は、桑原・鬼柳めだか米の会が出展し、当会はお手伝いに回りました。

その前 2 年間は、会として出展、クリスマスリースづくりのワークショップを行いました。右のポスターは一昨年のもの。坪倉梢子さん制作のポスターでした。

今年は、内容をどうするか運営委員の皆さんにアイディアをだしてもらっているところです。皆さんも「こんな試みはどうか？」「こうしてみたい」などのアイディアがあれば事務局村田までお知らせください。今月末日がエントリーの締め切りですのでどうぞよろしくお願い致します。

